

雑感

いろんな“モノサシ”

「たくさんの人でやるからこそ、チャレンジできることがある」「いろんな人の気持ちがあって、新しい表現が生まれてくる」
共同プロジェクトの発表で、質疑応答の時に子ども達からそんな言葉が出ていました。
いよいよ始まった中学部。学期末の発表の日、立派にプレゼンし質疑応答する姿を見て「すごいな」と感動しました。ただ、1学期を終えて振り返って、子ども達が何を学んだのか、スタッフとしてのあり方は適切だったのか、いろんな思いがめぐりました。
評価をするためには、基準（モノサシ）が必要です。
私は中学高校で進学校に通いました。ここでのモノサシは「(従来型)学力」。テストで高い点が取れなかった時期の私の学校での評価はとても低いものでした。そしてそれは人間的にも価値がないと感じさせるものでした。当時の自分にもきつとよいところ

があったはずなのに、それを感じることは全くありませんでした。
こどもの森には、もっと豊かなモノサシがあります。自分のペースで学び、自分の思うように表現すること、それを認め合うこと、更には共同で取り組んでいくこと、それがどんな風にできたか、自分で振り返り、周りからフィードバックをもらいます。その中で、いろんなモノサシではかりながら学び続けていきます。まず居るだけでも価値があるのです。
人は関わり合って生きています。だから、周りの人にどのように貢献できるのか、仲間の中でどのような役割を担えるのか、みんなでどのような成果が出せたか、も大切なモノサシになります。子ども達はそれを学んでいるようです。そして、周りからの評価より、自分が何者であるか、どうありたいかを大切にしていってもらえたら。もちろん、私たちも。(佐野)

【お詫びと訂正】 前回の春季21号4頁「雑感」の数式 ay = by (*) は、ay = bx の誤記でした。お詫びして訂正いたします。(松崎)

各種イベントのお知らせ (9月~12月)

~ぜひ、お気軽にご参加ください~

小中合同学校説明会

こどもの森に入学を検討されている、幼児~中学1年のお子さまをお持ちのご家庭を対象にした小中合同の説明会です。
【実施日】9月26日(土)13:30~15:00
【場所】箕面こどもの森学園
【対象】幼児~中1までのお子さまをお持ちの保護者の方

オープンスクール

子どもたちの可能性を拓く新しい教育にふれる貴重な機会です。こどもの森の教育に関心のある方はぜひご参加ください。お子さまは学習体験もできます。(お子さまのみの参加はご遠慮ください。)
【実施日】11月7日(土)9:30~11:20
【場所】箕面こどもの森学園
【対象】年長~中1までのお子さまとその保護者の方

子育てカフェ 第4回「ほめ方・叱り方」

「子育てハッピーアドバイス」のエッセンスをお伝えする子育てカフェです。
【実施日】11月18日(水)10:40~12:00
【場所】箕面こどもの森学園
【講師】ハッピーアドバイザー 守安あゆみ
【対象】子育て中の方、子育てに関心のある方

【参加費】500円
今後の開催予定

第5回 1月20日(水)
第6回 3月2日(水)

*参加ご希望の方は、事前に電話、FAXまたはメールで箕面こどもの森学園までお申込みいただきますようお願いいたします。



こんな学校に出会えたかった！！

♪ 箕面こどもの森学園生徒募集 ♪

2015年度と2016年度の小学部・中学部の生徒募集をしています！

自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか？

募集人数：
2015年度入学 各学年 若干名
2016年度入学 小学部1年生 7名
 中学部1年生 7名
対象年齢：小学部 6~12歳
 中学部 12~13歳
場所：箕面市小野原西6丁目15-31
見学：月・水・木曜日
体験入学：見学の後、小学部は5日間、中学部は8日間の学習体験をしていただきます。
入学面接：ご相談の上で日程を決めます。
※見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。
TEL&FAX 072-735-7676
メール info@kodomonono-mori.com



アクセス：阪急北千里駅から北へ徒歩15分

《編集後記》

今、こどもの森は、お子さまの入学を考えられたり、学園の教育に関心を持たれたりされる多くの方から、毎日のようにお問い合わせをいただいています。
一人でも多くの方のご要望にお応えできるよう、そして、同じ思いをお持ちの方々とながることで、こうした教育が広まっていくよう、スタッフ一同、日々努めています。
いつも、ご支援いただいている皆様に感謝し、必要とされる方に必要な情報が届きますようにと願いつつ。(沼尾)



スタートした中学部の日々

2015年春、多くの方のご支援をいただきながらカタチになった念願の中学部が、7名の新1年生とともにスタートしました。真っ白のキャンパスに絵を描くように、子どもたちと過ごしてきた初めての学期の様子を紹介します。

少しの緊張と期待を抱きながら初めて顔を合わせた日。日々のできごとを伝え聞き合うハッピータイムは朝の恒例の時間になりました。

中学生になって少しずつ専門的になってきた基礎学習、一人一人が学習計画を立て振り返りながら学びました。

子どもたち自身の『問い』から学びが始まるワールド・オリエンテーション。1学期は『私の物語』をテーマに、「なぜ江戸時代の生活が好きなのか?」「なぜ私は絵を描くことが好きなのか?」「My dream shop」など、子どもたちがもつ疑問や興味について調べまとめることを通して、自分で学びを深める取り組みをしました。

共同プロジェクトでは『学習室のかざりつけ』『新校舎の看板づくり』をすることに決まり、「(全体の時間の)3分の1が話し合いだった」と子どもたちがふりかえるほど、みんなで納得したものが作れるようにと話し合いを重ねました。体育祭や夏祭りなど小・中学部の合同行事もありましたが、時にリーダーシップをとったり、小学部の子どもたちを見守り、サポートしたり、そんな中学部の子どもたちの様子に頼もしさを感じることもありました。

7名の子どもたち、それぞれが持つ豊かな色がまざりあい“学ぶと生きるをデザインする”中学部が始まりました。これからどんな学びが彩られていくのでしょうか。とても楽しみです。(高原)

楽しい日本へおいで！
こどもの森キッズジャパン

これは、1学期のテーマ「日本を紹介しよう！」の発表会のタイトル。子どもたちが考え、緊張しながら準備してきた集大成です。

国際交流協会の施設まで出向き、たくさんの保護者はもちろん、外国から日本にいられてまだ日の浅いお二人にも見ていただきました。

前半は、低学年による日本の行事の紙芝居。後半は高学年が個人で調べたこと、低学年が遊びのブースを出しました。高学年のブースには日本の文様、遊びから経済までのクイズ、造幣の技術、漢字の成り立ち、鉄道案内、食べ物、観光地ランキング、自動販売機、茶道などユニークなテーマが盛りだくさん。体験できたりパワーポイントだったり表現の仕方も様々。低学年の遊びのブースには、おはじき、影絵、あやとり、妖怪の絵、けん玉、お手玉などが並び、楽しそう。浴衣姿もたくさんでワイワイと盛り上がり、最後にはゲストのお二人から感想を頂き、あっという間に時間が過ぎました。



自分たちのことを知り、相手に伝える。様々な人と地球で暮らしていくためには、語学や相手のことを知る以外にも大切なことがあります。それを体感し、手探りした1学期でした。(中尾)

行事で、学び、仲間と結ばれる

【体育祭】5月30日体育祭。手作りの特大プログラム、一番目は今年初のマラソン！

宝探しや、借り物、全力疾走でリレー！パン食い、動く籠の玉入れ、最後は美白のアメ

Publication information: 発行日: 2015年9月15日, 発行所: NPO 法人箕面こどもの森学園, 〒562-0032, 大阪府箕面市小野原西6-15-31, tel&fax 072-735-7676, e-mail info@kodomonono-mori.com, URL http://kodomonono-mori.com

食い。その後にみんなで写真撮影。

【夏祭り】7月10日夏祭り。「夏まつりがんばろう！」の掛け声で開始。お絵描き、手作り販売、射的、手作りお菓子、くじ引き、輪投げ、お化け退治。保護者出店の雑貨屋、飲み物、プニョ玉すくい。近所の子どもたち



や卒業生、会員さんなど多くの方が参加。終了後は保護者からの手作りカレーでみんなほっこり。

体育祭も、夏祭りも、「するかしないか」の選択から子どもたちに任せ、ああしたい、こうしたいで意見の衝突と話し合いの繰り返し。何度も小さな山や大きな山を乗り越えてようやく当日を迎え、子ども、スタッフ、保護者のみなさんも笑顔に！行事ってみんなのためにあるんだなあと感じます。(平嶋)

【中学部発表会】1学期末、中学部では、日ごろの学習成果をお見せする発表会をしました。この日は『私の物語』をテーマに一人一人が取り組んだワールド・オリエンテーション、そしてみんなで協力し取りくんだ共同プロジェクトにつ

いて発表。小学部、保護者、一般の方々から色々な質問が飛び交い、それを子どもたちがそれぞれの言葉で感じたことを答える、という活発なやりとりをする時間にもなりました。そんな様子を見て、初めての大きな発表に緊張しながらもやりとげた自信と、学期を通してかさねた成長を、子どもたちの表情から感じる一日になりました。(高原)



中学部の作品紹介

哲学と短歌づくり

中学部では、週に 1 回「日本語共同」という時間があります。その時間は、多角的な視野で物事を考え、自分の考えをまとめて表現することを目指しています。1 学期は、自分の好きな本の要約、新聞記事の紹介、哲学と短歌づくり、スタッフ名鑑づくりなどに取り組みました。哲学と短歌づくりの 1 学期のテーマは、「感情・気持ちって何？」感情・気持ちについてのいろんな人の考えなどを調べて発表し合ったあとで、みんなで哲学をして、自分が思うことを短歌に表しました。中学部 7 人の短歌を紹介します。（藤田）



「まか不思議 喜び悲しみ人心 出来事思う 気持ちの源（瑠唯）」
 「かんんじょう かんかんじょう かんんじょう かんかんじょう FEELING(恵音)」
 「気持ちとは 楽しさうれしさ分かち合い 人生豊かにできることかな（桜彩）」
 「感情は 素直に言うのが難しい 心の気持ちを表したいな（紫瑛里）」
 「感情は 楽しいもので苦しいが 無いと苦しくあるとうれしい（素直）」
 「感情は 物事接ったときの心 感情ないととてつまらん（一慧）」
 「感情は 無限だけど表せる そんな人間すてきじゃない？（千穂）」

プロジェクト作品の紹介

ふなっしーの着ぐるみ

ころこ（小 5）・みずき（小 6）ころこ（以下こ）「今からふなっしーの着ぐるみの発表をします。その前に、ある方に来てもらっています」

♪ ふなっしーの音楽が流れると共にふなっしー現れる♪

みずき（以下み）「ふなはし市からやってきたふなっしーなっしー！ はあはあ、全然疲れてないなっしーよ」
 こ「改めてふなっしーの着ぐるみの発表をします。作った理由は、みーちゃんがふなっしーが大好きで私もちょっと好きだから作りました」



み「材料と作り方の説明をするなっしー」

～中略～（布をウコンで染めた過程の説明）

み「次はふなっしーの本体の作り方なっしー！」

～中略～（本体を縫った過程と内部を膨らませるための細工について説明）

み「これで完成なっしー！ 工夫したところは帽子とパニエを使ってふっくら感を出したところと、女の子にもなるように葉っぱにつけるリボンを作ったことなっしー」

こ「気に入っているところはかわいくて面白くて本物に似ているところです」

み「難しかったところは全部なっしー。反省点はもっとマジックテープをキレイに付けたらよかった事と、葉っぱが立たないので針金を入れたらよかったなっしー」

～中略～

2 人「これで、ふなっしーの着ぐるみの発表を終わります。」

ワンピース

かの（小 3）

どうしてつくったかという、一回ふくを作ってみたかったからです。

まず、上と下にわけてある型にそってきりませ。つぎに、上と下をくっつけるのであわせてぬいます。それを 2 まい作ります。それから 2 まいあわせて肩をぬいます。それから脇をぬいます。それからすそをぬいます。肩にギャザーをつけるのでジグザグにぬいます。さいごにでている糸などをきれいにします。できたらかんせいです。

だいたい 10 時間ぐらいかかりました。工夫したところは上と下の布の色をかえたところです。むずかしかったところは、糸をぜんぶほどくところ。本当は、うらをむけたままぬわぬってしまわないのに、わたしはおもてをむけてぬう時はかならずうらをむけてぬってください。肩のギャザーは肩のはばをせまくしたかったからつけました。でも、ギャザーがゆるかったので、もう少し



ほつれないようにしたらよかったです。つぎにやってみたいことは、ぜんぶ同じ色のワンピースを作ってみたいです。

自由作文の紹介

えれべえたあのこと

たくと（小 1）



ほくは、えれべえたあにのって おりるとき、きものをきた おばあさんにであってきれいでした。

てつがく「豊かさってなに？」

のぞみ（小 6）

- | | | | | |
|----------|---------|-------|---------|---------|
| 1、ゆたかさは | いくらびんぼう | でもがんば | ちからあわせて | みんなのりきる |
| 2、だいじしん | やられるけれど | たちあがれ | みんないっしょ | ころこをひとつ |
| 3、あたたかさ | みんなかんしゃ | いつまでも | かんしゃしたら | きずなふかまる |
| 4、おかねもち | かそくにつかう | かねころこ | それでびんぼう | でもしかたない |
| 5、いきものが | ころこをもらう | たいせつに | | |
| 6、れきしつぐ | せんぞのおもい | ついでいく | しんのれきしを | つくっていくよ |
| 7、えがおがね | くうきをかえて | ころこよく | そしてしゃべる | みんなえがおに |
| 8、こじんのね | いろいろなこと | せいかくに | | |
| 9、じぶんのね | いいたいことは | いってみる | あいてのきもち | じぶんのきもち |
| | わかりあえるよ | | | |
| 10、そうげんが | そこらじゅうに | ひろがるよ | かわもながれて | ゆたかなばしよ |

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 4 月～8 月

こどもの森の大感謝祭

7 月 18 日、日頃お世話になっている会員の皆様に感謝しようと開かれた「こどもの森夏の大感謝祭」。足元の悪い中でしたが、多くの方にご参加いただきました。ホールには、わくわく子ども学校時代の校舎や、当時の子どもたちの学習の様子、そして現在の校舎が建つ前の更地や、手作りの小屋で遊ぶ子どもたちの写真などが掲示され、参加者の方々にこれまでの歩みをご覧くださいました。

会の冒頭、校長の藤田より会員の皆様へのご挨拶がありました。当初、辻学園長の想いに共感した人たちが集まり、何もないところから校舎を建て、学校という森を創り続けてきたこと、そしてここまでやって来れたのは、会員の皆様や保護者の方々の温かなご支援があったればこそと、感謝の想いが伝えられました。

その後、卒業生によるパネルトークと座談会があり、卒業後の進路や、こどもの森で学んだこと、それぞれが考える「学ぶ」と「生きる」とは？ などについて思い思いに話してくれました。会員の皆様や保護者の方々も交えて活発に対話をされていたのが印象的でした。（福田）

ファシリテーターキャンプ ～こどもが輝くクラスづくり～

この夏、1 泊 2 日の研修を学園にて開催しました。教育に携わる社会人や学生の方々が九州や関東からも集まってくださり、「こどもが輝くってどういうことだろう？」「大人にできることって何だろう？」ということと一緒に探求しました。

こどもの森で大切にしていることをお伝えし、自己肯定感をはぐくむコミュニケーションの講座を行った後、2 日間かけてグループワークをしました。テーマは「こどもが輝くクラスをつくってみよう！」。劇や紙芝居、参加者を巻き込んだワークショップなど、思い思いの形式で発表し、研修が終わるころには参加者の皆さんの顔つきががらりと変わっていたのが印象的でした。

参加者やスタッフが、たんぽぽの綿毛のように、ひとつの想いを共有しながらも、それぞれの場所に根付き、社会に少

しずつ変化を与えていけたらと思っています。（中尾）



スタッフ研修

いろいろ学んだ！！夏休み

この夏は、六甲の山荘を使わせていただいて 1 泊 2 日のスタッフ合宿をしました。組織の中での関わりのあり方を考え直したり、何を大切にどこに向かいたいかを考え、ビジョンマップを作成したりしました。夜は、それぞれのスタッフがなぜどんな思いでかわっているのかマイヒストリーを共有。理解の深まる濃い時間になりました。

また、スタッフの有志で長野に教育視察ツアーにも出かけました。今回訪れた学校は、ハヶ岳サドベリー、南アルプス子どもの村小中学校、大地、グリーンヒルズ小中学校、まああるい学校の 5 校でした。それぞれの学校にそれぞれの特色があり、いろいろな学校とこどもの森学園を比較することで、自分たちの教育活動を客観的に見ることができました。



ハヶ岳サドベリースクールにて

それぞれで学んだことを、箕面こどもの森学園のこれからに生かしていきたいと思えます！！（藤田）

ホームページの更新

学園のホームページを更新しました。大きな変更点として、トップページの中段のメニュー欄に「中学部ブログ」と「講師派遣」が加わりました。今までは、トピックスの記事からしか「中学部ブログ」にアクセスできなかったのですが、今回の変更により

それができるようになりました。また「講師派遣」のページを利用して、こどもの森の教育のことを知りたいという依頼に素早く応えることができるようになりました。

そのほか、こどもの森のイベント情報を伝えるために「イベントカレンダー」と「教育カフェマラソン」へのアクセス・メニューを新しく設けました。学園での学習や行事の様子をお伝えする「ビデオ・ライブラリ」も、ひと月毎くらいのペースで動画をアップしていますので、そちらもときどきご覧になってください。（辻）

中学部校舎の建設工事が始まりました

中学部校舎を建てる敷地は、現在、木工室がある場所です。長年子どもたちの作品づくりに役立ってきた木工室に惜別の気持ちを抱きながら、8 月 1 日、2 日に解体作業を行ないました。1 日は学園スタッフ、保護者、子ども、会員など 20 人ほどの方が作業を手伝いに来てくれました。この日は屋根や壁材をはがす作業を行いました。2 日は、7 年前の木工室建設に携わった当時大学生だった方、里山工房の方、保護者の方にも来ていただき作業をしました。建築現場の監督をされている方の主導のもとに、またたく間に骨組みが倒され、建材が外され解体されていきました。暑い中参加して下さった方々に心より御礼申し上げます。

8 月 6 日に中学部校舎の着工式を行ないました。保護者や子ども、スタッフと施工会社の人など 13 人ほどが集まり、簡素でしたが心のこもった式でした。翌日から工事が始まりましたが、8 月中に基礎工事を終え、9 月から本工事が始まります。12 月初旬に建物完成の予定です。（辻）



骨組みだけになった木工室

鉄入れ式